第38回熊本第一ライオンズ旗争奪熊本県中学生選抜バレーボール大会

審判上の確認事項

審判委員長

1．本大会は、２０２４年度（公財）日本バレーボール協会６人制競技規則および(公財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部における６人制ルールの取り扱いに則って行う。

2．リベロ・プレーヤーについて
リプレイスメントする選手同士はサイドライン上ですれ違うようにする。
コート上の選手が５人または７人にならないようにする。
リベロ・プレーヤーはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。

3．ボールはクリアにヒットされなければならない。
ボールが止まっている、ヒット後に接触している部分から離れないと判断された場合はキャッチの反則となる。腕が伴うようなプレーは明らかなヒットではない。指先を用いたティップは許されるが．その際、手を伴ってはいけない。

4．タイムアウトに入ったら、コートから離れなくてはならない。ただし、その位置については制限されない。タイムアウトは３０秒間であるが、選手は、３０秒を待たずにコートに戻ってもよい。（給水タイムを除く）ただし、タイムアウトの時間が短くなることはない。

5．ラインアップシートの訂正は、セカンドレフェリーに手渡した後は認められない。
ただし、公式練習中に選手が負傷した場合、監督はファーストレフェリーに申し出て、負傷選手を変更することができる。

6．監督は、タイムアウトを要求するときは、ハンドシグナルを示す。審判員が気付かない時は、口頭で伝えること。

7．監督は試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。ラリー中やラリー後に、監督における、選手への不適切な言動や、レフェリーの判定に影響を及ぼす行為に対しては、直ちに罰則を適用する。また、ラインジャジの視界を遮っていたり、ラインジャッジの判定に影響を与えたりするような位置にいてはならない。

8．監督･コーチ･マネージャー･選手ともに相手チームに対する威嚇的な態度、最終判定後に不満を示す態度や言葉を発してはならない。但しルールに関する質問はゲームキャプテンに限り許される。

9．コート上に５人だけ、または７人の選手がいるときには６人になるよう、またポジション４にリベロが上がった場合は正規の選手にリプレイスメントするよう、サービスのホイッスルの前に促す。もしファーストレフェリーがそのことに気づかずにサービスのホイッスルをしたり、ラリーが始まったり完了した場合、ファーストレフェリーはそのことに気づいたら直ちに罰則無しにラリーをやり直さなければならない。

10. ネット越しに相手を威嚇したり、ガッツポーズをしたりすることは警告の対象となる。

11. インプレー中に吹笛が鳴ったら、直ちにプレーをやめること。（相手コートに返球しない。）